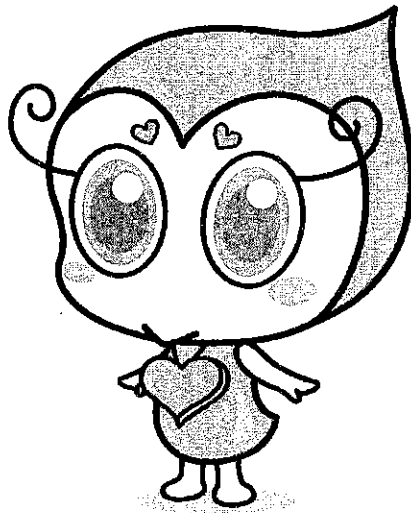


第1号議案

平成26年度
事業報告書



社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

平成26年度事業報告(概要)

“みんなで支えあうまちづくりをめざして”

社会経済の大きな変動により、地域社会における介護や子育てへの不安、障がい者への自立支援、児童、高齢者など要援護者への支援の問題など深刻な福祉課題・生活課題が生まれているなか、みんなで支えあうまちづくりをめざして、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、平成26年度の計画事業に取り組んだ。

法人運営部門においては、適切な事業運営を行うため理事会、評議員会、監事会を開催するとともに役員研修等を実施しました。また、厳しい財政運営に対応していくため、行政職員の参画を得て経営検討委員会を立ち上げ、長中期的な財政改革プランを策定し、事業収入確保の取り組み、収入に応じた支出のあり方の検討、人材育成への取り組み等を図った。

地域福祉事業部門においては、“住民による福祉活動の活性化”を目指して、行政や民生委員児童委員、地区社協等関係団体との連携強化のもとに、高齢者向けの「ふれあい・いきいきサロン」、「子育てサロン」の普及や支援、学生や社会人の福祉意識の啓発を目的とした「福祉体験プログラム」の実施、包括支援センターと連携した地域での「相談事業」の強化を図った。また近い将来確実視されている大地震・大津波に対する防災意識が高まっていることから、これを契機として「大規模災害に対応できる仕組みづくり」を研究し、特に要援護者や災害弱者等に関わる支援の在り方についての取り組みを進めた。

介護保険事業部門においては、利用者確保の取り組みと併せて、効果的・効率的な人員配置の検討及び経常経費の節減に努めながら、各種事業マニュアルに沿った取り組みを進め、介護サービスの質の向上に努めた。

施設福祉事業部門の佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」については、これまでの施設経営のノウハウを更に活かしながらサービスの向上に努め、またより地域に開かれた施設づくりをめざして、地域との交流も深めた。

以下に平成26年度の具体的各種事業取り組み状況について報告する。

<総務課>

1. 会務の運営

(1) 理事会

会議名	期日	主な議題
第1回理事会	5月28日	平成25年度事業報告について 平成25年度収支決算について 平成26年度第1次収支補正予算について 評議員の選任について
第2回理事会	12月11日	平成26年度第2次収支補正予算について 評議員の選任について 佐伯市社会福祉協議会財政改革プランについて
第3回理事会	3月25日	平成26年度第3次収支補正予算について 経理規程の全部改正について 職員給与規程の一部改正について 平成27年度事業計画について 平成27年度収支予算について 育児・介護休業規程の一部改正について 佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」施設長の任命について

(2) 評議員会

会議名	期日	主な議題
第1回評議員会	5月29日	平成25年度事業報告について 平成25年度収支決算について 平成26年度第1次収支補正予算について
第2回評議員会	12月12日	平成26年度第2次収支補正予算について 佐伯市社会福祉協議会財政改革プランについて
第3回評議員会	3月26日	平成26年度第3次収支補正予算について 経理規程の全部改正について 職員給与規程の一部改正について 平成27年度事業計画について 平成27年度収支予算について 育児・介護休業規程の一部改正について

(3) 監事による監査

監査名	期日	
内部監査	4月30日	例月出納監査(2月・3月分)
決算監査	5月19日	平成25年度会計決算監査
内部監査	7月2日	例月出納監査(4月・5月分)
内部監査	9月17日	例月出納監査(6月・7月分)
内部監査	11月5日	例月出納監査(8月・9月分)
内部監査	1月22日	例月出納監査(10月・11月分)
内部監査	3月18日	例月出納監査(12月・1月分)

(4) 各種会議等の開催

- ・管理職会議(12回) ・課長会議(毎週)
- ・経営検討委員会(5回)

2. 社会福祉従事者等の顕彰 (地域福祉課にて掲載)

3. 職員の資質向上への取り組み

基礎研修、専門研修や部門別研修、職場内研修等を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

4. 法令等遵守の取り組み

各種関係法令改定に伴い、関連する事業部の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守した取り組みを行った。

5. 事業計画、予算の立案

事業計画・予算の立案、執行管理及び実現可能な事業量を把握し、費用対効果を意識した事業展開に努めた。

6. 人事労務管理

- 1) 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。
- 2) 職員の意識低下を防止するため、職場環境の改善や健康管理を図るため定期健診や健康相談及び安全衛生委員会のもと、職員の安全・衛生管理に努めた。
- 3) 福利厚生事業の一環として各種余暇活動を実施し、支部間職員相互の親睦を図った。

7. 中期的な財政基盤の確立に向けた取り組み(財政改革プランの策定)

直面する厳しい財政状況に対応していくため、経営検討委員会を組織し、中期的な展望のもと、自主財源等の確保と財政基盤の確立に向けたあり方検討を5回開催し、進めてきた。

- 1) 事業規格に応じた収入を目指し、各事業部における収入確保策の検討を行った。
- 2) 事業収入に応じた人件費や事務事業費の調整を図っていく取り組みを進めた。
- 3) 行政補助事業の実情を踏まえ、今後の地域福祉事業の在り方検討を行った。

8. 社協会費の状況

<戸別会員の状況>

区 分	金 額(円)		口数(件)		H27.3.31現在 加入率(%)	
	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
	佐伯	4,199,030	4,453,220	8,398	8,906	40.07%
上浦	393,800	416,200	788	832	79.68%	83.40%
弥生	896,800	927,400	1,794	1,855	61.46%	76.00%
本匠	262,300	273,500	525	547	76.09%	79.40%
宇目	545,500	544,500	1,091	1,089	81.66%	79.80%
直川	353,200	331,400	706	663	74.47%	82.90%
鶴見	569,000	536,000	1,138	1,072	72.90%	66.70%
米水津	348,800	346,000	698	692	75.62%	78.10%
蒲江	1,001,550	1,025,706	2,003	2,051	61.10%	61.60%
合計	8,569,980	8,853,926	17,141	17,707	51.01%	54.90%

<賛助会員>

517 口 258,448 円

<団体会員>

279 口 139,610 円

＜地域福祉課＞

1. 地区社協事業の推進

○地区社協の活動支援

地区社協への支援については、各支部から運営支援、イベント物品の貸し出しや研修参加の支援を行うとともに、協働して事業を実施するなど側面的な支援を行った。また、社協会費・歳末募金を財源に地区社協の運営費を補助した。

☆平成 26 年度 地区社協の主な活動

地区社協名	主 な 活 動 内 容
佐 伯	配食サービス、グラウンドゴルフ大会、視察研修
灘	グラウンドゴルフ大会 ミニバレーボール大会 配食サービス
渡町台	サロン連絡協議会 配食サービス 視察研修 ふれあい社協まつり 親子天体観測 ひまわり文庫まつり とまちっこ子どもまつり 会報「ときめき」発行
佐伯東	配食サービス ほのぼの作品展 ほのぼのお月見会 視察研修 グラウンドゴルフ大会 広報誌「きずな」発行 防災備蓄品の整備
上堅田	健康づくり歩こう会 こども祭り 給食サービス 福祉研修会 ふれあい広場
大入島	救急救命講習会 視察研修 島っ子まつり ボランティア研修会 給食サービス 人権同 和教育講演会 愛の花・愛のおたより配布
鶴 岡	福祉教室 サロン交流会 視察研修 ほのぼのネット事業 トロの広場事業 みんなで学ぼう私たちの福祉 シルバーと子どもの集い
八 幡	視察研修 給食サービス 社協&健康まつり 料理教室
西上浦	ふれあい夏祭り 西上浦健康まつり 西上っ子と高齢者との集い ボランティア研修会 ひな弁当配布 健康づくり教室 視察研修
下堅田	鮎かけの集い ふるさとふれあい広場 愛の正月もち配布 配食サービス 視察研修 さ〜いき生き健康づくり堅田
青 山	配食(弁当、餅)サービス 防災研修(炊き出し、避難所運営訓練) 視察研修 秋の収穫 祭(ふれあいサミット)参加
木 立	親子ふれあい夏祭り 社協委員研修会 敬老会 ふれあい公民館祭り 給食サービス
上 浦	ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会・救急法講習会・夏祭り・非常用傘設置事業
弥 生	視察研修 保育所との合同芋掘り会 独居高齢者・高齢者世帯クリスマスケーキ配布事業・ 弁当配布事業 グラウンドゴルフ大会 地区社協広報誌発行 健康づくり講演会 県内一 周駅伝選手応援・支援
本 匠	ふれあいの集い グラウンドゴルフ大会 歳末もちつき事業 普通救命講習 ふれあい配食 災害ボランティア研修会 本匠お楽しみ会協力事業 視察研修
宇 目	独居高齢者ふれあいの集い あんしん見守り隊啓発活動 地区社協だより 男性の料理教室 地区内夕暮れ・老人クラブグラウンドゴルフ大会お茶提供
直 川	男性料理教室 三世代交流スポーツ大会 防災研修 高齢者クリスマス配食 地域支援 事業 絵手紙配布 地区社協だより 小学生とのお茶摘み交流
鶴 見	地区交流事業助成事業 地区スポーツ大会助成事業 防災研修事業 歳末福祉もちつき 大会 視察研修
米水津	ふれあいスポーツ大会 健康講座「高血圧症について」 高齢者福祉センター利用者 との交流会 地域ふれあい子ども夏まつり ふれあい配食サービス 視察研修 安心安 全なまちづくり事業(防災標語の看板づくり)
蒲 江	グラウンドゴルフ大会 蒲江安全安心マンボウ隊(見守り活動) 配食サービス 防災研修事業 福祉関係者研修 理事研修 宮崎県大塚台地区社協視察受け入れ

○地区社協会長・事務局長会議(1回)

2. 各種サロン事業の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン

高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

現在、191ヶ所で開催されている。

<ふれあい・いきいきサロン>

3月31日現在

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
合計数	74	5	34	9	18	15	11	7	18	191
(新規)	5	0	0	0	0	1	1	0	0	7
(廃止)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

大分県のモデル事業を受け、佐伯市介護予防体操普及推進事業として実施

・めじろん元気アップ体操リーダー養成研修会 5回 追加1回 (30名)

・モデルサロン…自主サロン3か所 支援型…2カ所

実施期間 9月～2月【体力測定・めじろん元気アップ体操】

リーダー養成研修を受けた人が支援指導する。

・講師の派遣…めじろん元気アップ体操の指導8か所のサロン

(2) ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

ふれあい・いきいきサロンを支えるスタッフの健康知識やレクリエーションメニューの充実を図ることを目的として各種研修会を実施した。研修会は、レクリエーションインストラクター、NPO法人ヘルス・フィットネス・フォーラム理事長を講師に迎え実施した。

○協力者等研修会(2回 4会場 延べ400名参加)

○支援員・お助け隊・音楽お助け隊研修(合計3回 延べ59名参加)

(3) 新規サロン説明及びおためしサロン開催

H26年度実施5か所 H27年度実施予定2カ所

3. 地域福祉ネットワークの推進

地域のネットワークづくりを推進するために、民生委員児童委員協議会や関係機関・団体と連携しながら事業を展開した。申請・更新情報を地域支援システムに入力し、災害時要援護者情報とのネットワーク化を図った。

(1) 地域支援システム入力事業

市より緊急雇用災害時要援護者支援事業の委託を受け、本匠・米水津・蒲江・弥生・青山の避難支援プランの情報入力を進めた。市内全域の緊急情報キット及び災害者援護マップにおける情報入力が終了した。また、登録済みの内容更新作業を行った。

入力済み実績

(平成27年3月末現在)

区分	緊急情報キット	災害援護者マップ	避難支援プラン	障がい者避難支援プラン
件数	9,139	4,360	498	75

(2) 配食サービス事業

各地区社協と協働し、地域のひとり暮らし高齢者等へ安否確認と関係者の連携を深めることを目的として弁当を配布した。

○延べ配食数 3,189 食

○実施内訳 ○実施内訳

木立地区社協	12 回	延べ 540 食
米水津地区社協	11 回	延べ 454 食
佐伯東地区社協	4 回	延べ 329 食
下堅田地区社協	4 回	延べ 223 食
青山地区社協	2 回	延べ 46 食
八幡地区社協	2 回	延べ 339 食
佐伯地区社協	1 回	118 食
渡町台地区社協	1 回	297 食
上堅田地区社協	1 回	131 食
大入島地区社協	1 回	117 食
西上浦地区社協	1 回	130 食
本匠地区社協	1 回	69 食
蒲江地区社協	1 回	396 食

(3) ほのぼのネットワーク事業の推進

地区社協や民生委員児童委員協議会と連携し、ひとり暮らし高齢者や障がい者等の具体的な見守り体制づくりを行ってきた。見守り対象者へは緊急連絡カードを配布し、緊急時の連絡先をわかりやすくした。

○ほのぼのネットワーク登録者数 429 ネット（平成 27 年 3 月末現在）

4. 大規模災害に対応できる仕組みづくりや地域における災害対策の研究

(1) 防災研修会等への支援

○地区社協や自治会等が実施する防災研修会の支援を行った

- ・ 4 月 11 日(日) 稲垣地区防災研修(大規模災害と避難所運営について) 一本部
- ・ 7 月 12 日(土) 新女島区自主防災会(大規模災害と要援護者支援について) 一本部
- ・ 7 月 24 日(木) 佐伯東小学校キャンプ(避難所運営について) 一本部
- ・ 10 月 18 日(日) 羽出地区防災研修(大規模災害と避難所生活について) 一鶴見支部、本部
- ・ 10 月 20 日(月) 第1回蒲江(丸市尾)地区災害時要援護者支援対策会議 一蒲江支部
- ・ 11 月 7 日(金) 第2回蒲江(丸市尾)地区災害時要援護者支援対策会議 一蒲江支部
- ・ 11 月 9 日(日) 丸市尾地区「地域避難訓練」への職員派遣 一蒲江支部
- ・ 11 月 16 日(日) 西上浦地区地域防災キャンプ(避難所運営について) 一本部
- ・ 2 月 15 日(日) 大入島地区災害ボランティア研修会(避難時の搬送方法、炊き出し訓練) 一本部

(2) 災害ボランティア運営リーダー研修への参加

○県社協が実施する研修に職員1名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。 研修回数7回

(3) 防災訓練への参加

○各地域で行われた研修会へ参加し連携を深めた

- ・ 8 月 30 日(土) 大分県中部地区総合防災訓練へ職員1名参加。災害ボランティアセンター設置運営訓練を行った
- ・ 10 月 19 日(日) 延岡市水防訓練へ、常務、担当課長、各支部長、地域福祉担当の職員 21 名が参加。災害ボランティアセンター設置訓練を行った

(4) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

○佐伯地区、鶴見地区にてマニュアルに基づく設置・運営訓練を実施。佐伯地区に本部、鶴見地区にサテライトを設置し、当日は当会職員・災害ボランティアネットワーク協議会会員により訓練を実施した

期日：11月7日(日) 実施場所：佐伯小学校、鶴見支部

参加者：佐伯市社協61名、災害ボランティアネットワーク協議会11名、県社協1名、計73名

(5) 大分県防災士養成研修へ職員派遣

○自主防災活動推進のため行われた養成研修へ当職員を講師として派遣。(1名4日間)

(6) 佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会の実施

○今年度は、「顔の見える関係づくり」を基本に協議会を4回開催。当会の災害ボランティアセンター設置・運営訓練へ参加。平常時の活動報告をしグループワークを行うことで、つながりを強めた

(7) モデル事業への参加

○県社協が実施するモデル事業を佐伯市社協で行い、事業所数の多い社協としての災害対応を考えた。次年度も継続して行う

5. 子育て支援の強化

(1) 児童館の運営<佐伯・上浦・蒲江>

市内3ヶ所の児童館事業の運営を行い、社協の社会資源を活かしながら事業展開を進め、児童福祉推進を図った。

平成26年度 児童館利用状況			
児童館名	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
利用延べ人数	15,284人	5,779人	8,838人

(2) 第9回ちびっこフェスティバルの開催

福祉体験を取り入れながら、親子で楽しい時間が共有できる「ちびっこフェスティバル」を開催した。高校生ボランティアの活躍や福祉施設、子どもたちの活動を支える多くの個人団体の協力があった。

日時：平成26年9月7日(日)

場所：保健福祉総合センター「和楽」

参加人数：市内の子どもと保護者 約400名 ボランティア 42名

内容：福祉体験(車いす・手話・点字・アイマスク)・自衛隊体験(手旗信号・車両展示)・警察署による歩行シミュレーター体験・折り紙・お茶席・チャレンジゲーム・綿菓子・かき氷ポップコーンコーナー・昔のあそびコーナーなど

(3) イベント託児事業

イベントを行う団体から、託児の依頼があり、託児ボランティア登録者の派遣を行った。

3回実施 託児数：延べ16名

(4) 子育てサロンの推進

地域で子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、主任児童委員等との協働により事業の普及や支援を行った。

○子育てサロン交流会・・・1回(「病児、病後児保育事業」「ホームスタート事業」について説明 子育てサロン情報誌について、その他情報交換)

○社協子育てサロン情報誌作成「子育てサロンへようこそ」350冊

<子育てサロン登録数>

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
サロン数	11	0	0	0	0	0	1	1	1	14

6. ボランティアの啓発や活動の支援

佐伯市社協では、支部ごとにボランティア団体の育成や活動支援を行っている。「佐伯市ボランティアセンター」では、ボランティア活動を希望する方々の交流と情報提供の場所として、下記の事業の活動支援を図った。

(1) 収集ボランティア活動

書き損じはがき 146 枚、使用済み切手 6.2Kg、エコキャップ 383.8Kg を団体へ送付し、盲導犬の育成や発展途上国への医療支援等に役立ててもらった。

(2) 相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供および、活動に参加したい人と応援したい人を結ぶコーディネートを行った。

(3) 佐伯市ボランティア連絡協議会への支援

28団体が所属している佐伯市ボランティア連絡協議会に対して、その事務局を担当するとともに交流会や研修会等運営に関する支援を行った。

・会員交流事業 ・先進地視察研修

(4) 福祉教育推進事業

① 福祉体験プログラム事業

小中学校を中心に障がいの理解をすすめ、人を思いやる心を醸成するため、市内 19 か所の学校や児童館で延べ 23 回のアイマスク・盲導犬・車いす体験などを中心とした福祉体験を実施し、講師の派遣や必要機材の提供を行った。

② 夏のボランティア体験事業

夏休み期間中、市内 58 ヶ所の福祉施設・福祉団体・NPOが、中学生・高校生を中心に延べ 127 名のボランティアを受け入れ、ボランティア体験を行った。

③ ボランティア交流会

中津市在住の吉田日出子さんを講師に迎え、「地域で共に生きること」を演題に地域のサロン活動や住民参加型有償サービスについて話をしてもらった。その後、市内で活動している4つのボランティアグループと1つの学校より活動報告をしてもらった。(全1回 30名)

(5) ボランティア団体の状況

ボランティア団体の状況		(平成 27 年 3 月 31 日現在)
社協で把握している 団体数	68 団体 3,968 名 (内) ボランティア連絡協議会加入団体数 28 団体(うち企業ボラ1) 個人登録ボランティア 28 名	
ボランティア保険の 加入補助	1,544 名	活動者の傷害、賠償補償保険(100 円補助)
ボランティア行事用 保険の活用状況	48 行事	行事ごとに加入するボランティア保険
事故対応	1 名	活動中の事故に対する保険申請
住民参加型在宅福 祉サービス加入	1 団体	直川 直川地域協力隊
送迎サービス加入	1 団体	宇目 わたぼうしの会

7. 日常生活自立支援事業の実施

○大分県社会福祉協議会との委託契約により日常生活自立支援事業を実施し、認知症高齢者等の生活支援を行った。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

日常生活自立支援サービスの契約件数 (支部対応別)										
支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	42	0	8	3	1	0	2	1	3	54

※平成 26 年度新規契約件数:17 件

平成 26 年度解約件数:11 件

日常生活自立支援サービスに係る相談件数					
種別	認知症高齢者	知的障がい	精神障がい	その他	合計
件数	26	15	10	0	51

8. 相談援助サービスの提供

(1) 相談事業

住民の生活全般にわたる相談の窓口として、相談援助サービスを提供した。

① 弁護士による無料法律相談会の開催

(ア) 社協会館「きずな」では毎月 1 回、3 月は月に 2 回開催・山間部年 3 回の合計 16 回法律相談会を行った。

会場	佐伯	弥生	蒲江	合計
相談件数	113	5	2	120

② 民生委員児童委員による心配ごと相談会の開設

○支部で民生委員児童委員による相談会を開設した。

支部	佐伯	蒲江	合計
開催回数	12	12	24
相談件数	5	26	31

③ 職員による随時の相談

○電話や訪問により職員が相談に対応した。

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	164	113	187	40	156	75	48	185	193	1,161

相談内容別件数

生計問題	153	相続・財産問題	5
年金問題	1	事故問題	1
金銭問題(貸借・多重債務など)	3	人権相談	0
離職による相談	1	児童福祉関係	3
住宅問題	0	教育・青少年関係	0
家族問題	3	障がい者・児関係	3
結婚問題	0	老人福祉関係	942
離婚問題	0	父子・母子関係	0
不貞行為・慰謝料	0	苦情相談	0
健康・医療・介護問題	17	その他	22
近隣トラブル・境界線	7	合 計	1,161

④地域包括支援センターブランチ(高齢者)の相談

○地域に密着し見守りを行いながら、職員が相談・援助を行った。

軽度生活援助事業	10	虐待	5
食の自立支援事業	77	日常生活支援相談	35
福祉サービス相談(保険外)	131	認知症に関する相談	93
介護保険関係(申請相談等)	301	見守り・安否確認	3,524
権利擁護相談	2	その他	285
成年後見制度	3	合 計	4,466

(2)資金貸付事業

①生活福祉資金貸し付け事業

○大分県社会福祉協議会からの受託事業として、資金の貸付・償還指導を行った。

資金種類	新規貸付件数	金額
福祉資金・福祉費	2件	2,179,000円
総合支援資金	1件	282,000円
教育支援資金	2件	828,000円
緊急小口資金	9件	271,000円
合 計	14件	3,560,000円

※ 償還指導：5月13日・12月16日実施

②小口資金貸付事業

○社協単独事業として、民生委員児童委員と協働し短期的な貸付を行った。

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	3件	130,000円
つなぎ資金	3件	45,000円
合 計	6件	175,000円

(3)福祉器具等貸付事業

介護保険制度等では対応できず、福祉器具を一時的に必要としている人に対し、車いす等の貸出を行った。また、イベント用具やレク用品の貸し出しも行った。

(貸し出し回数)

福祉器具	回数	イベント用具	回数
車イス	31	かき氷機	31
福祉体験用品	7	綿がし機	43
音楽用品(楽器等)	25	ポップコーン機	27
介護用品	0	レク用品	113
災害体験用品	7	その他	20
おもちゃ	10	合計	314

9. 社協活動の広報啓発事業

(1) 社協だよりの発行

社協だよりを全戸に配布し、事業の報告やお知らせなど社協活動の啓発を行った。

年間6回発行 発行部数 33,300部/1回

号	発行日	主な内容
38	5月15日	平成26年度事業計画・予算
39	7月15日	平成25年度事業・決算報告、社協会費のお願い、歳末募金助成金申請開始、夏のボランティア体験月間のお知らせ、社協ちびっこフェスティバルのお知らせ
40	9月15日	米水津防災標語設置、緊急情報キット、共同募金のお知らせ、職員採用試験
41	11月15日	大分県地域福祉推進大会報告、子どもとつくる避難経路ウォーキング
42	1月15日	新年のあいさつ、災害ボランティアセンター設置・運営訓練報告、シニア婚活のお知らせ
43	3月1日	共同募金報告、佐伯市社会福祉大会報告、ボランティア活動保険のお知らせ

(2) ホームページの管理運営

地域住民に社協の活動をより詳しく知ってもらい、よりホットな福祉情報を提供するためにホームページの更新・管理運営を行った。

26年度アクセス数：5,226回

(3) 第9回大分県大会への参加

① 大分県地域福祉推進大会

大分県と大分県社会福祉協議会、大分県共同募金会が主催の大会に参加し、福祉功労者の表彰等を受けた。

日時：平成26年10月29日(水)

場所：別府ビーコンプラザ

参加者：142名(内表彰者5名、団体表彰4団体)

内容：福祉功労者の表彰及び感謝状授与、基調講演

(4) イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」による広報

社協事業やイベント・子育てサロンなどに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った
出演回数・・・22か所

(5) 地域座談会

社協事業のPRと住民との意見交換を目的に実施した。(8か所)

(6) 佐伯市社会福祉大会の開催

内容：民生委員・児童委員特別功労者表彰 36名

社会福祉事業関係功労者表彰 3名

社会福祉事業関係感謝状 10団体

寸劇:佐伯警察署 番匠劇団「振り込んじゃーダメダメ」

講演:講師 いちのせかつみ「笑顔で暮らす人生 100 年プラン
～備えあれば、ひと安心～」

日時 : 平成 27 年 2 月 4 日

参加人員 : 286 人

10. 共同募金事業の取り組み

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金を実施し、歳末たすけあい募金は福祉事業を実施する各団体や歳末事業に対して助成した。

①赤い羽根共同募金の実績

○戸別募金を各世帯にお願いし、また街頭募金を市内2箇所で開催した。

項 目	件 数	金 額
戸別募金(各世帯からの募金)	17,200	8,251,566
街頭募金(10月1日に募金活動)	2箇所	21,395
職域募金(バッチ募金等)	164	72,100
イベント募金	1	12,000
個人募金	7	20,500
預金利息等		70
合 計		8,377,631

②歳末たすけあい募金の実績

○戸別募金を各世帯にお願いし、また学校や企業からも協力を得た。

項 目	件 数	金 額
戸別募金(各世帯からの募金)	21,768	4,321,396
街頭募金(地域での啓発活動)	2	6,370
法人募金(企業・会社等からの募金)	11	168,500
学校募金(学校からの募金)	4	144,093
職域募金(職場等からの募金)	8	40,197
イベント募金	1	155,000
個人募金	5	11,894
その他の募金	5	27,885
預金利息		371
26年度 募金合計・・・①		4,875,706

③歳末たすけあい募金助成事業

○歳末たすけあい募金助成について運営委員会で助成方針を協議。

助成希望の募集を行い、団体助成・歳末に行われる事業に重点を置き、助成を行った。

項 目	件 数	金 額
福祉団体助成	124	4,310,628
歳末募金配分経費		299,000
25年度 助成合計・・・④		4,609,628

※ 9月25日から1か月間、各支部で歳末募金の審査委員会を開催した。

※ 1月20日、社協会館で助成金の交付式を行った。

26年度 募金合計……①	4,875,706
25年度 剰余金……②	616,239
26年度 助成金原資…③=①+②	5,491,945
26年度 助成実績……④	4,609,628
26年度 剰余金 ⑤=③-④	882,317

④共同募金運営委員会の開催

	期 日	議 題
第1回	平成26年9月25日	平成25年度共同募金報告 平成26年度共同募金目標額について 平成26年度歳末たすけあい募金配分指針について
第2回	平成26年12月19日	平成26年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について

11. その他の事業

(1) 民生委員児童委員協議会との連携

民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援や研修を行うとともに、相談活動等では連携・協力し対応を進めた。

○連携した事業の主なもの

- ・災害時要援護者支援マップの更新作業
- ・緊急キッド事業の更新作業
- ・各サロン活動
- ・心配ごと相談会
- ・お誕生日おめでとう訪問事業
- ・視察研修
- ・ほのぼのネットワーク

12. 支部事業

支部名	事業名	実施内容
佐伯支部	シニア婚活応援事業	社協だよりにて広報。申し込みを上回る募集となり、キャンセル待ちあり。最終的には、断ることとなった。自己紹介後、3班に分けて陶芸を行った。その後、交流し、気に入った相手へ自分の連絡先を渡すという方法をとった。参加者数18人。
上浦支部	地域防災研修	住民30名を対象に実際避難所で活用される簡易テントや間仕切り等を用いて避難所での活用方法や重要性についての説明を行った。
弥生支部	地域防災講座	災害に備え、サロン等に参加する高齢者に向けて、避難時の基礎知識を伝え、非常食の試食と防災袋の紹介を行い日頃の準備の大切さを説明した。合わせて社協事業のPRを行った。参加者数67名

本匠支部	本匠お楽しみ会開催	本匠在住または出身者の若い世代が中心となって実行委員会を結成しお楽しみ会を企画し案内状の配布・運営まで行い、児童クラブ・独居の高齢者・若者が共にお楽しみ会に集い、各々のオリジナルカレンダーを製作することで世代間の交流がみられた。 参加者 73名 支援者 23名
宇目支部	チャイルドシート貸出し事業	貸出し回数 7回 保有台数 チャイルド 5台 ジュニア 5台 ベビー 3台
	移送サービス事業	ボランティアとの協働で移動が困難な方の送迎サービス 44件/年 ボラ13名
	お洗濯支援事業	コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスを実施した。3件
	声の広報 実施なし	
直川支部	想いをかたちにする運動	直川地区住民の協力により、地域内 23カ所に幟旗を設置してもらっている。平成 25 年度よりこの活動を開始し 2 年経過。幟旗も破損や色あせがひどい物に関しては取り替えを行い継続し、地域の見守り活動を啓発している。
	防災講演会	直川地区社協と協働し、地域団体が行う行事や地区住民が集まる機会を利用し、非常食の説明や試食会を行った。参加者約 56 名。
鶴見支部	防災研修会	地域住民の防災意識の向上を目的に東北の支援活動を行った講師を招き、講演会を実施した。また、日ごろの備えとして、避難場所の確認や非常食についての説明を行った。 参加者 35 名。
米水津支部	地域防災事業『安心安全なまちづくり』	地区内に避難路を示す手づくりの防災看板を製作した。小中学校 3 校の全生徒から“防災標語”を募集し、12 作品を選定して設置した。 参加者 地域住民 25 名
蒲江支部	福祉推進員研修会	3 年に 1 度の福祉推進委員改選に伴い、「地域福祉の現況と福祉推進員の役割について」と「地域福祉を進めるために」の 2 つをテーマに研修会を開催した。参加者 36 名

<在宅福祉課>

1. 介護保険事業の状況

介護保険事業において、国は本来の介護保険制度の理念に基づき、介護予防を全面的に打ち出し、各サービス事業所が行うサービスに「自立支援」の考え方を、反映するよう求めている。佐伯市においても「地域ケア会議」の開催や「介護予防・日常生活支援総合事業」の導入により、要介護状態にならないためのサービス提供に軸足が移ってきた。26年度は、その自立支援の考え方に対応すべく職員の研修を重ねサービス提供を行った。

また、支部においては、介護保険担当者を中心に経営会議を開催し、日々の職員配置数や経費の削減方法など経営の効率化を検討した。

(1) 居宅介護支援事業

5事業所の21名の居宅介護支援専門員(ケアマネージャー)が、在宅の要介護者の依頼により居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、そのサービス計画に基づき事業者との連絡調整を行った。介護予防プランについては、包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険収入	総経費	収 支
平成 24 年度	24	95,727	81,807	13,944
平成 25 年度	20	91,368	83,799	7,589
平成 26 年度	22	85,845	94,634	△8,767

※介護保険収入には介護予防プラン作成委託料を含む

(2) 訪問介護事業

当会にある7事業所(サービス提供責任者14名、登録ヘルパー72名)の訪問介護員が利用者宅を訪問し、主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また26年度より介護予防を目的とした「日常生活支援総合事業」が開始された。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険収入	総経費	収 支
平成 24 年度	130	139,925	119,248	20,807
平成 25 年度	0	128,250	114,329	13,921
平成 26 年度	448	126,096	114,258	12,286

(3) 訪問入浴事業

蒲江支部のみで実施。自宅での入浴希望者が少なくなる中で、昨年度より少し増加している。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険収入	総経費	収 支
-----	------	--------	-----	-----

平成 24 年度	0	4,453	5,512	△1,059
平成 25 年度	0	1,283	1,267	16
平成 26 年度	0	2,183	1,599	584

(4) 通所介護事業(デイサービス)

佐伯支部・蒲江支部以外の9事業所で、食事・入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のための支援を提供した。中重度者を中心に施設入所や、リハビリを主としたサービスを行うデイケアに利用者が移り、収入が減少傾向にある。

26年度より介護予防を目的とした運動プログラム中心の「ころばん事業(めじろんプログラム)」が開始された。(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険収入	総経費	収 支
平成 24 年度	0	273,746	225,031	48,715
平成 25 年度	0	262,862	224,873	37,989
平成 26 年度	3,010	236,947	210,372	29,585

2. 障がい者を対象とした事業(ホームヘルパー)

行政と連携して市受託事業の障がい者福祉サービス、障害者自立支援法による、身体障がい(児)者・知的障がい(児)者への訪問介護サービスを提供した。

(1) サービスごとの訪問回数

事業所	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	あまべ	蒲江	合 計
居宅介護	2,422	41	605	23	45	85	635	3,856
同行援護	701	0	1	0	0	0	0	702
移動支援	685	0	0	0	0	0	1	686
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	106	106

※移動支援・訪問入浴は受託事業

(2) 収支

(単位：千円)

年 度	市受託金	自立支援費収入	総経費	収 支
平成 24 年度	2,393	17,631	14,633	5,391
平成 25 年度	1,778	15,160	13,813	3,125
平成 26 年度	2,914	14,838	14,025	3,727

3. 受託事業の状況

(1) 軽度生活援助事業(ホームヘルパー)

介護保険の認定非該当者で、在宅の一人暮らしの高齢者等に対し、日常生活上の軽易な行為について訪問介護員を派遣して援助を行った。

年度/支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	あまべ	蒲江	合計	
2	訪問回数	181	13	4	61	365	0	3	627
5	受託額(円)	157,675	11,050	3,400	51,850	309,825	0	2,550	566,950
2	訪問回数	43	1	0	14	334	0	26	418
6	受託額(円)	36,550	850	0	14,450	283,900	0	22,100	357,850

(2)食の自立支援事業(配食サービス)

調理が困難な高齢者等に対し、定期的に栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否の確認を行った。

年度/支部	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	合計	
25	配食数	1,929	656	1,517	1,497	873	1,633	1,995	10,100
	受託額(円)	657,150	229,600	530,950	523,950	306,550	571,550	698,250	3,535,000
26	配食数	1,355	616	1,240	1,067	453	1,026	1,087	6,844
	受託額(円)	474,250	215,600	434,000	373,450	158,550	359,100	380,450	2,395,400

(3)高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

ハウス名	浅海井	蒲戸	弥生A	弥生B	本匠	宇目	鶴見	米水津	合計
定員	11	6	10	10	15	10	18	10	
平均入居者数	9.9	6.0	9.8	10.0	11.3	8.8	12.3	6.4	
受託金額(千円)	8,513	8,513	8,599	8,599	8,599	8,599	13,438	8,513	73,373

(4)介護予防支援事業(ケアマネージャー)

地域包括支援センターからの受託により、介護予防プランの作成を行った。

居宅介護事業所	佐伯	まごころ	直川	宇目	蒲江	合計
作成件数	574	563	459	675	427	2,698
金額(円)	2,124,920	2,114,784	1,725,600	2,532,680	1,591,800	10,089,784

4. 介護職員処遇改善への取組み

(1)介護職員処遇改善金の手続きを行い、職員の処遇改善に努めた。

(2)管理職の目標管理とヒヤリング

管理職に、担当事業の実施目標と自己目標について目標管理シートを作成させ、その達成状況のヒヤリングを行い資質の向上を図った。

<施設福祉課> 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

平成26年度は、入苑者の、安全、安心、快適はもとより、豊寿苑の理念に沿い、生活の質をより一層向上させることに努め、職員の研修に力を入れてきた。「豊寿苑では拘束をしない」方針のもと、会議や研修を重ね、身体拘束ゼロを達成することができた。

ユニットフロアにおいては、入居者の生活把握をしっかり行い、24時間シートを取り入れ、入居者が、自由に自分らしく暮らせるように取り組みを行っている。

感染症対策については、面会者や、職員の出勤時の検温や、流行期以前よりの予防の取り組みを行い、入苑者のインフルエンザの発生を抑えることができた。

地域との交流もたくさんの方々を迎え実施することができ、盆踊り花火大会では、準備からボランティアに協力を頂き、多くの来場者を迎え盛大に開催することができた。

1. 平成26年度 入苑者の概要 (各年度末統計)

(1) 平均年齢

年 度		男 女 別 平 均 年 齢		平均年齢
		男 性	女 性	
23 年度	従来型	81歳 7月	87歳 0月	84歳 4月
	ユニット	91歳 9月	85歳 1月	88歳 5月
24 年度	従来型	82歳 9月	86歳 8月	86歳 1月
	ユニット	92歳 9月	86歳 10月	87歳 5月
25 年度	従来型	83歳 1月	87歳 10月	87歳 2月
	ユニット	94歳 3月	86歳 7月	87歳 0月
26 年度	従来型	85歳 8月	87歳 11月	87歳 7月
	ユニット	87歳 5月	86歳 10月	86歳10月

(2) 要介護度別の割合

要 介 護 度	26年度 入苑者の割合		26年度 全 体	25年度 全 体
	一般特養 (79)	ユニット (21)		
要介護 1	2.56%	5.00%	3.06%	4.08%
要介護 2	8.97%	45.00%	16.32%	10.21%
要介護 3	19.23%	25.00%	20.41%	22.45%
要介護 4	43.59%	20.00%	38.78%	36.73%
要介護 5	25.64%	5.00%	21.43%	26.53%

2. 職員の研修状況

月	研 修 名	主 催	人 数	備 考 (内 容 ・ 対 象 者)
4	実施なし			
5	介護職員喀痰吸引研修 医療的ケア教員講習会		3名	介護職員
			1名	看護職員

	第1回栄養士研修会 福祉ネットワーク協議会 ケアマネ全体研修 第1回県南ブロック老施協会議 ☆介護職員現任研修 ・エアーマットを使用した対抗枕 の当て方	大分県 社協 臼杵市 豊寿苑内部研修	1名 1名 2名 1名	栄養士 苑長 ケアマネ 苑長 苑長他全職員対象 講師 エアーマット業者
6	介護職員喀痰吸引研修 高齢者権利擁護(拘束)研修会 ☆介護職員現任研修 ・拘束ゼロを目指して	大分市 大分市 豊寿苑内部研修	3名 1名	介護職員(10日間) 看護師 苑長他全職員対象 行動と言葉による制限
8	介護支援専門員更新研修 県南ブロック施設職員研修会	大分県 県老施協	1名 2名	介護支援専門員 係長・生活相談員
9	相談員研修 全国労働衛生週間説明会 濃厚流動食視察研修 (特養若葉苑) 県防災モデル事業研修会 ☆介護職員現任研修 ・正しいオムツの当て方 ・人権学習 ・防災研修	大分県 佐伯労働基準監督署 社協 豊寿苑内部研修	1名 1名 6名	生活相談員 係長 係長・看護職員・介護職員・ケアマネ 苑長・係長・介護支援専門員 苑長他全職員対象 オムツ業者講師 無視をする・された場合の心理 災害発生時の行動の把握
10	看護実践者講演会 看護職員サポート会議 消毒インストラクター新規講習会 感染・褥瘡視察研修 (長陽会・鶴見の太陽) リスク・マネージメント視察研修 (紫雲荘) ☆介護職員現任研修 ・認知症の理解	県立看護科学大学 佐伯市 佐伯市 豊寿苑内部研修	2名 1名 2名 8名	看護職員 看護職員 苑長・看護師 苑長、看護職員・介護職員 リスク・マネージメントの考え方 ヒヤリハットと事故の違い 苑長他全職員対象 認知症の方の接し方・介護方法
11	食事ケアリーダー研修 消毒インストラクター新規講習会 ☆介護職員現任研修 ・感染症予防について ・接遇について	大分県 佐伯市 豊寿苑内部研修	2名 1名	介護職員 看護職員 苑長他全職員対象 正しい手洗いの方法・吐物の処理の方法 接はふれあうこと。遇とはもてなすこと
12	佐伯市褥瘡地域連携推進会講座	佐伯市	4名	看護職員・介護職員

	認定調査員研修	佐伯市	2名	ケアマネ
1	第2回施設長会議 ユニットケアフォローアップ研修 第2回県南ブロック老施協会議 ☆介護職員現任研修 ・ユニットケアについて	県老施協 ユニットケア推進協会 老施協 豊寿苑内部研修	1名 1名 1名	係長 ユニット介護職員 苑長 苑長他全職員対象 ユニットケアについて全職員へ理解説明
2	新型インフルエンザ等対策のための研修会 在宅医療連携経典事業専門研修 県南ブロック看護・介護研修会 地域包括ケアシステム研修会 介護施設等看護職員サポート会議	大分県看護協会 佐伯市 臼杵市 大分市 南部保健所	1名 1名 1名 1名	看護職員 苑長 介護職員 係長 看護職員
3	業務改善研修 在宅医療連携拠点整備専門研修 介護報酬改定説明会 地域密着型介護施設説明会 ☆介護職員現任研修 ・リスク・マネジメント研修	県社協 佐伯市 大分県 佐伯市 豊寿苑内部研修	1名 1名 1名 1名	係長 苑長 係長 係長 苑長他全職員対象 苑内の記録から読み取れること
その他	新人職員研修 拘束体験研修	豊寿苑内部研修	新採用職員対象 6名／年間 異動職員・新規採用職員対象	